

2017年10月

観光庁と共に、インド・アーメダバードにおいて日本観光ブースを出展しました

日本政府観光局（JNTO）は9月14日、安倍総理が日印首脳会談のために訪れたアーメダバードにおいて、観光庁と共に日本観光ブースを出展し、日印における観光交流を促進しました。マルチ・スズキの自動車展示、インドに建設される新幹線のシミュレーターと並んで観光ブースを出展し、インド市場向けに制作した日本の観光PR映像を放映、また観光地のパンフレットを配布し日本の魅力を発信しました。ブースにはモディ首相、安倍総理が訪れ、観光庁田村長官、ホテルマネジメントインターナショナル比良社長、JNTO デリー事務所高野所長がお迎えし、昨年モディ首相が安倍総理と共に訪れた東寺の写真をお見せしながら日本の魅力を紹介しました。

安倍総理は首脳会談の中で、本年の日印友好交流年から2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、観光分野等の人的交流を抜本的に拡大したい、オープンスカイ合意、スポーツ交流を歓迎、映画交流も活発化させたい、更なるビザ緩和も今後実施する旨を述べました。

モディ首相は、人的交流に向けた日本側の様々な取組を歓迎し、JNTOのデリー事務所の開設を歓迎、日本と連携して進めていきたい旨を述べました。

また、観光庁田村長官は日本・インド経済フォーラムにご登壇され、日本にはインドレストランが豊富であることや言葉の問題もないことを伝え、インドからの訪問を国を挙げて歓迎すると発信しました。

各メディアは式典終了後も連日安倍総理の訪印について報道し、9月19日には同地アーメダバードにおいて観光セミナーが開催されるなど、訪日の機運が高まっています。



<両首脳 JNTO ブース訪問の様子>



<JNTO ブースを訪れる参加者>